

## 業績集

### 著書

1. 中野幸弘  
共著「測定値の施設間差縮小の手引き」  
兵庫県における活動(六甲ワーキンググループの活動を中心に)  
(社)日本臨床衛生検査技師会臨床化学研究班編 214-221 1996年4月30日発行
2. 中野幸弘 吉田雅明(尼崎市中央保健所) 中 恵一(大阪市立大学医学部)  
共著「臨床化学検査室における危機管理マニュアル」  
日本臨床化学会近畿支部 1996年7月発行
3. 214-221 1996年4月30日発行
3. 中野幸弘 北田徳昭  
共著 汎用自動分析装置による異常値データに関する検討  
薬剤の臨床検査におよぼす影響  
(社)日本臨床衛生検査技師会総合管理部門

### プロジェクト

1996年

- P1. 日本臨床化学会機器専門委員会  
検体搬送システムに関する規格: 1. 検体搬送用ラックに関する規格  
プロジェクト報告 臨床化学 Vol.25 No.2 122-125 1996

1997年

- P2. 日本臨床化学会機器専門委員会  
pH指示薬を用いたセル内温度モニタリング法  
プロジェクト報告 臨床化学 Vol.26 No.2 106-114 1997

1999年

- P3. 日本臨床化学会機器専門委員会  
検体搬送システムに関する規格: 2. 分析装置との接合に関する規格  
Part1 サンプリング機構  
プロジェクト報告 臨床化学 Vol.28 No.2 91-95 1999

- P4. 日本臨床化学会機器専門委員会  
検体搬送システムに関する規格: 検体IDに関する規格  
プロジェクト報告 臨床化学 Vol.28 No.2 96-102 1999

2000年

- WP1. Y.NAKANO (adviser)  
Laboratory Automation: Bar codes for Specimen container Identification.  
;Approved Standard  
NCCLS Auto2-A Vol.18 No17 january 2000

2004年

- WP2. Y.NAKANO (adviser)  
Laboratory Automation: Subcommittee on Data Content Specimen Identification  
;Approved Standard  
NCCLS Auto7-A Vol.24 No20 june 2004

2006年

- P5. 日本臨床化学会クオリティマネジメント専門委員会  
定量分析法における検出限界および定量限界の評価方法  
プロジェクト報告 臨床化学 Vol.35 No.3 280-294 2006

- P6. (社)日本臨床衛生検査技師会総合管理部門  
汎用自動分析装置による異常値データに関する検討  
薬剤の臨床検査におよぼす影響

### 論文

1989年

1. 中野幸弘 齊藤文美 武田 啓 松森康有  
商業誌「日立 736 における免疫比濁法によるRFの検討」  
臨床検査機器・試薬 第12巻 第5号 1071-1074 1989

1991年

## 業績集

2. 中野幸弘 松森康有  
原著「日立 736 形自動分析装置におけるクレアチニン酵素法の比較検討」  
日本臨床検査自動化学会会誌 Vol16 No.1 72-77 1991
3. 中野幸弘 石村さおり 武田 啓 松森康有  
商業誌「クレアチニン酵素法における共存物質の影響の差異について」  
臨床検査機器・試薬 第 14 巻 第 2 号 190-194 1991
4. 中野幸弘 上杉絵里子 武田 啓 松森康有  
商業誌「日立 736 を用いたCRPラテックス凝集法の比較検討」  
臨床検査機器・試薬 第 14 巻 第 3 号 505-508 1991

1992 年

5. 中野幸弘 松森康有  
報文「新しい血清中尿素窒素測定法の検討」  
日本臨床検査自動化学会会誌 Vol17 No.1 7-12 1992
6. 中野幸弘 市川千夏子 石村さおり 武田 啓 松森康有  
研究「健康診断におけるフルクトサミン測定の有用性について」  
医学検査 41 巻 11 号 1722-1725 1992
7. 中野幸弘 松森康有  
短報「新しい尿酸測定試薬の評価」  
日本臨床検査自動化学会会誌 Vol17 No.6 719-721 1992

1993 年

8. 兵庫県臨床衛生検査技師会臨床化学研究班  
中野幸弘 入野博文(兵庫県立成人病センター) 吉田雅明(尼崎市民健康開発センター)  
土井真弓(川崎病院) 田端省三(兵庫県立成人病センター) 太子 馨(兵庫医科大学  
病院) 渡辺和男(公立八鹿病院)  
研究「兵庫県における酵素活性測定値統一化への試み」  
医学検査 42 巻 12 号 1898-1905 1993

1995 年

9. 中野幸弘 渡辺和男(公立八鹿病院) 太子 馨(兵庫医科大学病院)  
田端省三(兵庫県立成人病センター) 土井真弓(川崎病院)  
吉田雅明(尼崎市民健康開発センター) 入野博文(兵庫県立成人病センター)  
受賞論文「兵庫県における酵素活性測定値統一化への試み 第 2 報 LAP,CHE,AMY」  
(社)兵庫県臨床衛生検査技師会臨床化学研究班  
医学検査 44 巻 6 号 1012-1017 1995

1996 年

10. 中野幸弘 砂田理恵子 石村さおり 武田 啓 松森康有  
寄稿論文 平成6年度の診療報酬改定に対する検査室サイドでの経営上の対策  
ー宝塚市立病院化学検査部門を中心にー  
全国自治体病院協議会雑誌 1月号 74-76 1996
11. 六甲ワーキンググループ  
中野幸弘 吉田雅明(尼崎市民健康開発センター) 土井真弓(川崎病院)  
田端省三(兵庫県立成人病センター) 入野博文(同) 太子 馨(兵庫医科大学病院)  
資料 六甲からの提言ー阪神淡路大震災で学んだことからー  
医学検査 45 巻 2 号 195-198 1996
12. 中野幸弘 松森康有  
資料 将来のオーダーエントリーシステムに向けての検査部システムの構築  
会報 HYOGO(兵庫県臨床衛生検査技師会会誌) VOL17 No.1 23-26 1996
13. (社)兵庫県臨床衛生検査技師会臨床化学研究班  
研究 ヒト尿中より精製された酵素標品による測定値互換性の確認ー $\gamma$ GT, CHEー  
医学検査 45 巻 6号 1003-1007 1996
- 14(1). 吉田雅明(尼崎市民健康開発センター) 辻 智子(尼崎市民健康開発センター) 中野幸弘  
資料 戦略的検査室経営法 その1ーポートフォリオ・マネジメントー  
医学検査 45 巻 6号 1043-1047 1996

## 業績集

- 15(2). 吉田雅明(尼崎市中央保健所) 辻 智子(尼崎市民健康開発センター) 中野幸弘  
資料 戦略的検査室経営法 その2ーオペレーティング・レバレッジー  
医学検査 45 巻 6号 1048-1052 1996
16. 中野幸弘  
資料 施設間測定値差異縮小のために知っておいてほしいこと  
会報 HYOGO(兵庫県臨床衛生検査技師会会誌) VOL17 No.4 59-61 1996
17. 中野幸弘  
資料 臨床化学検査室における危機管理  
会報 HYOGO(兵庫県臨床衛生検査技師会会誌) VOL17 No.4 62-63 1996
18. 中野幸弘 松森康有 中 恵一(大阪市立大学医学部) 巽 典之(同)  
商業誌 尿酸測定用液状試薬「ウリカラー・リキッドS」の基礎的評価および  
日本臨床化学会勧告法による測定値との比較  
臨床検査機器・試薬 第19巻 第6号 803-806 1996
- 1997 年
- 19(3). 中 恵一(大阪市立大学医学部) 巽 典之(同) 中野幸弘  
吉本 茂(大野記念病院検査部)  
商業誌 尿酸測定用液状試薬「ウリカラー・リキッドS」の評価  
現代医療 Vol29(増I) 521-527 1997
20. 中野幸弘 砂田理恵子 石村さおり 武田 啓 松森康有  
講演集 当院の新しい受付方法についてー効果の有無し  
第2・3回 近畿サンプリング研究会講演集 Vol.2 合併号 1997
21. 中野幸弘 砂田理恵子 石村さおり 武田 啓 松森康有  
寄稿論文 臨床化学検査室の外注化を考える  
全国自治体病院協議会雑誌 6月号 57-59 1997
22. 中野幸弘 中 恵一(大阪市立大学医学部)  
技術 血清トリグリセリド第二次標準物質の作成  
生物試料分析 Vol.20 No 3 259-264 1997  
受理日 1997 年 1 月 27 日 受領日 1997 年 4 月 16 日
23. 中野幸弘 松森康有 中 恵一(大阪市立大学医学部) 巽 典之(同)  
田端省三(兵庫県立成人病センター) 大川二郎(同)  
原著 汎用臨床化学自動分析装置でのD体アミノ酸測定法の開発  
日本臨床検査自動化学会会誌 Vol22 No.5 685-688 1997  
Received Dec.28,1996 ; Accepted Jan.9,1997
24. 中野幸弘 松森康有 吉田雅明(尼崎市中央保健所) 寺田昭子(富士メディカルシステム)  
中 恵一(大阪市立大学医学部)  
技術 富士ドライケム・オート5の性能評価  
日本臨床検査自動化学会会誌 Vol22 No.5 702-707 1997  
Received Oct.8,1996 ; Accepted Oct.18,1996
- 25(4). 吉田雅明(尼崎市中央保健所) 中野幸弘 土井真弓(川崎病院)  
入野博文(兵庫県立成人病センター) 篠倉 潔(神鋼メディコ)  
資料 臨床検査におけるアミラーゼ活性単位統一化のための基準測定法の提案  
ーGalG4 を基質とする測定法ー  
医学検査 46 巻 11 号 1643-1647 1997  
受付日 H9.8.20
26. 中野幸弘 松森康有 中 恵一(大阪市立大学医学部) 巽 典之(同)  
田端省三(兵庫県立成人病センター) 大川二郎(同)  
原著 D体アラニンの臨床的意義の検討ー癌患者に関するデータの推移ー  
生物試料分析 Vol.20 No 5 355-358 1997  
受理日 1997 年 10 月 11 日 受領日 1997 年 11 月 30 日
27. 中野幸弘 松森康有 中 恵一(大阪市立大学医学部)  
短報 中性脂肪二次標準物質による単位の伝達性について  
生物試料分析 Vol.20 No 5 378-381 1997  
受理日 1997 年 10 月 11 日 受領日 1997 年 11 月 30 日

1998 年

## 業績集

28. 中野幸弘  
講演集 近臨技における情報ネットワークの将来
29. 中野幸弘 松森康有 中 恵一(大阪市立大学医学部) 巽 典之(同)  
田端省三(兵庫県立成人病センター) 大川二郎(同)  
短報 血中D-アラニンの妊娠中における変動  
生物試料分析 Vol.21 No 2 162-164 1998  
受理日 1997 年 12 月 15 日 受領日 1998 年 3 月 15 日
30. 中野幸弘  
講演集 脂質第二次標準物質について  
臨床化学のつどい Vol XIV No2 63-66 1998
31. 中野幸弘  
トピックス ヒト生体中D体アラニンの臨床的意義 <依頼>  
臨床検査 Vol.42 No6 697-698 1998
32. 中野幸弘 松森康有 武田 啓 砂田理恵子 石村さおり 桑江秀樹(同泌尿器科)  
荻野敏弘(同) 黒田治郎(同) 三浦俊秀(日東紡績(株)バイオケミカル研究所)  
研究 泌尿器疾患パラメータとしての免疫阻害法による前立腺性酸性ホスファターゼ  
活性測定法の有効性について  
生物試料分析 Vol.21 No 4 283-288 1998  
受理日 1998 年 9 月 5 日 受領日 1998 年 10 月 5 日
- 33(5). 吉本 茂(大野記念病院) 中野幸弘 石田繁則(大阪市立大学医学部附属病院)  
吉田雅明(尼崎市中央保健所) 小倉克巳(高知医科大学検査部)  
中 恵一(大阪市立大学医学部)  
研究 pH 指示薬を用いた自動分析装置のセル内温度モニタリング  
臨床化学 Vol.27 No3 146-157 1998  
受理日 1997 年 6 月 11 日 受領日 1998 年 5 月 13 日

## 業績集

1999 年

34. 中野幸弘 松森康有  
特集 臨床検査をどうするか <依頼>  
「宝塚市立病院での検体搬送システムの構築」  
新医療 1999 年2月号 98-100
35. 中野幸弘  
講演集 脂質標準品におけるサッカロースの影響について  
第 32 回 臨床化学のつどい Vol XV No2 49-53 1999
36. 中野幸弘  
技術講座 これだけは知っておきたい最新臨床化学検査法－中性脂肪－ <依頼>  
Medical Technology 27 巻 6 号 511-516 1999

2000 年

37. 中野幸弘  
宝塚市立病院での検体搬送システムの構築  
宝塚市立病院業績集
38. 中野幸弘  
特集 自動機器分析に要求される標準化 <依頼>  
試料標識とバーコード  
臨床検査 Vol.44 No.8 851-856 2000
39. 中野幸弘  
「Laboratory Automation」の軌跡と 21 世紀への新しい展開 <依頼・分担執筆>  
Laboratory Automation の標準化 3. 標識の標準化  
臨床病理レビュー 特集第 114 号 66-70 2000

2001 年

40. 中野幸弘  
特集 臨床検査における危機管理<依頼>  
検体の取り違い防止  
臨床検査 Vol.45 No.13 1653-1657 2001

2002 年

41. 中野幸弘  
特集 検査データを保証するための自動分析装置の基礎知識 <依頼>  
2. 自動分析装置のモニターの上手な使い方  
Medical Technology 30 巻 11 号 1273-1278 2002
42. 中野幸弘  
Subcommittee on Data Content Specimen Identification 報告  
日本臨床検査標準化協議会会誌 Vol17 142 2002

2003 年

43. 中野幸弘  
復習のページ  
ヒト生体中の D 体アミノ酸 <依頼>  
検査と技術 31 巻 12 号 1332-1333 (2003)

2006 年

44. 中野幸弘 小金丸利夫 堀田敏江 関口洋子 小倉克巳(高知大学医学部病院)  
特集 採血  
患者の安全を考えた採血室の構築<依頼>  
臨床検査 Vol.50 No.3 271-276 2006
45. 中野幸弘 小金丸利夫 小倉克巳(高知大学医学部病院)  
患者の安全を考えた採血室の構築  
第 19 回サンプリング研究会 講演記録集 76-79 2006
46. 中野幸弘

## 業績集

技術 NMP22と尿沈渣、尿細胞診を用いた尿路上皮癌診断  
生物試料分析 Vol.29 No.5 477-482 2006  
受理日 2006 年 6 月 5 日 受領日 2006 年 10 月 24 日

2007 年

### 47. 中野幸弘

平成17年度日臨技プロジェクト研究報告 汎用自動分析装置による異常データに関する検討  
医学検査 Vol.56 No.3 298-302 2007

## Web 論文

2006 年

### 1. 中野幸弘

検査機器における精度保障範囲の下限、上限の決め方  
A&T 精度管理 Q&A No.16